

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡下さい。

| | | | |
|-----------|--|--------------|------------------|
| ① 研究課題名 | 糞便中の細菌 DNA 検査による大腸癌スクリーニング法の開発 | | |
| ② 実施予定期間 | 2015年 3月 ~ 2018年 3月 | | |
| ③ 対象患者 | 下記期間に「糞便検体を用いた DNA メチル化解析による大腸腫瘍検査法の研究」に参加いただいた患者さん | | |
| ④ 対象期間 | 2007年 11月 ~ 2014年 12月 ※臨床研究に同意の上、便検体 (DNA) を提供された方が対象となります | | |
| ⑤ 実施診療科 | 臨床検査・腫瘍学 | | |
| ⑥ 研究責任者 | 氏名 | 末廣 寛 | 所属 臨床検査・腫瘍学 |
| ⑦ 使用する資料等 | 糞便由来 DNA 性別、生年月、人種、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療、生活歴(飲酒歴、喫煙歴)、家族歴 | | |
| ⑧ 研究の意義 | 大腸癌は食生活と密接に関連していますが、食生活の影響を受けながら 1,000 種類以上の腸内細菌が生息していることから、腸内細菌も大腸癌の原因のひとつと考えられています。近年、核酸検査で菌の特異的検出が可能となり、腸内細菌と大腸癌の関係が明らかになり始めていますが、便検体を用いての解析はほとんど行われていません。そこで、この点を解明するために本研究を行います。この研究により、大腸癌の新しい検査法が確立できる可能性があります。 | | |
| ⑨ 研究の目的 | 腸内細菌叢の変化と大腸癌発生との関連性を調べます。 | | |
| ⑩ 研究の方法 | 便検体から DNA を抽出して、DNA 解析により腸内細菌を調べます。続いて、大腸腫瘍患者さんと健常者の腸内細菌の違いを調べます。 | | |
| ⑪ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2015年 4月 27日 | |
| ⑫ 結果の公表 | 関連学会および学術誌で発表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 試料は匿名化され、データを公表する際にも個人情報が明らかになる可能性はありません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 山口大学に属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 臨床検査・腫瘍学講座研究基盤経費 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません。 | | |
| ⑰ 問い合わせ先 | 末廣 寛 (山口大学 大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野) | | |
| | 電話 | 0836-22-2337 | FAX 0836-22-2337 |